崇広中だより

【カラー版を、ホームページに掲載しています】

NO.9　　2023.1.11
発行　崇広中学校長

2023年スタート

２０２３年が始まりました。年の初めです。新たな「目標」を掲げ、達成に向けた「計画」を立てましょう。そして、まずは「実行」の第一歩を踏み出すことが大切です。等しく与えられた時間を、どう活かすかは自分次第。

さあ、「Let's begin!」です。「始まる」を「始める」に！「意志」ある１年にしましょう。

2022年度学校マニフェスト学校自己評価について

２学期末に、生徒及び保護者の皆様に本校の教育活動推進のためのアンケートにご協力いただきました。これをもとに、学校マニフェストの達成状況等をお知らせさせていただきます。なお、達成率(%)はアンケートにお答えいただいた回答の４つの選択肢（Ａ：よく当てはまる　Ｂ：やや当てはまる　Ｃ：あまり当てはまらない　Ｄ：まったく当てはまらない）のうち、肯定的な回答（Ａ＋Ｂ）を示しています。

○生徒用：昨年度2学期末→本年度1学期末→本年度2学期末　○保護者用：昨年度2学期末→本年度2学期末

＜取組の重点目標＞

（１）授業づくり（学力）

①家庭学習の習慣化【平日２時間以上、休日４時間以上の家庭学習】　《目標60%以上》
●家庭学習をしている。　48.0%→46.2%→**41.9%**（保護者：31.9%→**30.1%**）

②楽しい授業づくり【1時間毎の目標を明らかにし、考え、わかる授業の創造】《目標80%以上》
●授業がわかりやすく楽しかった。　77.8%→83.4%→**77.7%**（保護者：69.6%→**77.8%**）

③授業規律の徹底【時間を大切にし、他の生徒の考える時間を妨げない】　《目標95%以上》
●授業規律を守っている。　88.6%→90.1%→**88.5%**（保護者：79.0%→**82.0%**）

（２）なかまづくり（人権）

①自尊感情・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力を高める【私ﾒｯｾｰｼﾞで気持ちをキャッチボールする】　《目標85%以上》
●先生や友だちに自分の気持ちを伝えられる。　83.9%→85.0%→**82.3%**

②山なみ学習・ヒューマンライツの充実【差別をなくすため気づきから行動へ移す】《目標90%以上》
●人権を尊重し差別をなくすために行動している。　90.9%→91.9%→**83.2%**（保護者：87.4%→**91.7%**）

③いじめをゆるさない学校づくり【まちがった言動は見逃さずその場で指摘する】　《目標80%以上》
●いじめや間違った事は注意し、話し合っている。　75.0%→84.8%→**74.7%**（保護者：79.6%→**88.2%**）

（３）自分づくり（キャリア）

①教室・校舎内外の美化【整理整頓・掃除を徹底するため「ぴか美化表」を活用する】《目標85%以上》
●校舎内外の美化に努め分担して掃除をする。　86.5%→88.9%→**81.4%**（保護者：54.1%→**61.6%**）

②ルール遵守・基本的生活習慣の確立【相手を見て笑顔で丁寧な言葉であいさつする】《目標90%以上》
●ルールを守り規律正しい生活を送れた。　90.5%→94.8%→**90.1%**（保護者：78.3%→**81.5%**）

③自己実現をめざした進路保障【将来にむけての希望を持つ】　《目標85%以上》
●夢や希望を持ち、進路や生き方について考えた。　74.2%→78.5%→**72.8%**（保護者：73.2%→**81.9%**）

（４）学校づくり（チームワーク）

①信頼関係を築く【生徒との対話（１回以上／１週間）保護者（１回以上／１ヶ月）】　《目標85%以上》
●困ったときは、先生や友だちに相談できている。　79.4%→80.3%→**78.4%**（保護者：61.4%→**71.3%**）

②健康・安全教育の推進、学習環境の整備【防災教育・登下校指導・ヘルメット着用】《目標90%》
●安全に毎日楽しく過ごせた。　93.3%→93.2%→**87.9%**（保護者：72.4%→**78.5%**）

③学校・保護者・地域との連携【学校だより・学年だより年間各12回以上発行する】《目標90%以上》
●学校の様子が通信などでよくわかる。　89.6%→91.0%→**84.4%**（保護者：83.0%→**88.3%**）
④職員間の相互理解と連携・チームワーク【生徒の様子を毎日１回以上交流する】《目標100%以上》
●自分のことが好きである。　73.9%→76.8%→**74.5%**
（保護者：開かれた学校づくりをめざしている）　（保護者：79.1%→**88.0%**）

【アンケート結果から】

生徒アンケートの結果では、１学期末から２学期末にかけて数値が下がっている項目が多くあります。残念な気持ちもありますが、生徒たちが、自分や身近にある課題に気づき、シビアに評価した結果であるととらえています。

「学力」では、家庭学習への取組状況に課題がみられます。学校として、わかりやすい授業づくりや効果的な家庭学習課題の提示に、今後も取り組んでいきます。

「人権」については、２学期もいじめのない集団づくりや様々な人権課題を解決するために学習を進めてきました。アンケート結果から、その取組がまだまだ不十分であるととらえています。特にいじめや差別をなくすための「行動に移す力」を身につけさせることに課題があることが、生徒たちの自己評価に表れているように思います。受け身の学習にとどまることなく、感じたことや考えたことを「発信」する活動を効果的に取り入れ、生徒たちが差別をなくす主体者であることを実感できる学習の工夫を今後も進めていきます。

「キャリア」では、生徒たちが将来に向けて目標や希望を持てるよう、今後も継続して取り組んでいきます。コロナ禍で、ここ数年職場体験学習が実施できていませんが、今年度は２年生で、ゲストティーチャーを招いてのパネルディスカッションを実施しました。また、新天地商店街を訪問し、商店街活性化の取組を学びました。本校では教育相談を重要視しており、機会をとらえてキャリアカウンセリングを進めています。学力向上のための基礎となる力ですので、今後も大切にしていきます。

「学校づくり」については、生徒たちが安全に楽しく学校生活が送れるよう、信頼関係の構築に取り組んでいきます。特に、生徒が困ったときに相談できるよう、学級担任だけでなく、学年団や部活動顧問、教科担当がそれぞれの立場から生徒たちをしっかり見守り、教職員が連携し、組織的に課題を解決していけるよう、職員間の連携、チームワークをより強化していきます。

【今後の学校改善の方向性】

より良い社会を作るため、課題を見つけて仲間と共に解決していける人になれるよう、「将来に向けた目標が持てる」、「自分が大切で、好きである」の２つの指標を特に向上できるよう、学力・人権・キャリアの３側面を融合した取組を今後も継続していきます。

（１）「授業づくり」（学力）
・定期テスト等の問題で、基本と応用の比率を適正に実施することで家庭学習の内容を改善させます。また、テスト毎に家庭学習の内容や時間について学習相談を行います。
・授業で「分かった」ことを「できる」ようにするための、家庭学習の必要性を理解させ、タブレットを有効に活用しながら、家庭学習の質と時間を向上できるよう取組を進めます。

（２）なかまづくり（人権）
・生徒・家庭と教職員がつながるよう継続的に教育相談を行い、家庭訪問を進めます。
・一人一人が大切にされる社会を構築するための学習として、性の多様性や国際理解について学習を深めます。また、マジョリティー特権など新たな人権学習の教材化を進めます。

（３）自分づくり（キャリア）
・生徒が将来の目標をもてるよう、教育相談を継続的に行います。
・職場体験学習や進路学習などのキャリア学習時の教育相談を充実させます。
・１年生から進路学習を進め、高校卒業後の将来への目標を持たせます。

（４）学校づくり（チームワーク）
・教職員の情報共有を強化し、学年に偏ることなく、組織的に課題解決に取り組みます。